

平成27年度「ふくしまの未来を担う高校生海外研修支援事業」実施報告書

福島県立福島南高等学校

実施期間・参加人数・滞在都市・現地交流校について

平成27年6月26日（金）～7月9日（木）までの14日間、2年生17名、3年生2名が、英国のグランサム市にホームステイしながら、Kesteven & Grantham Girls' Schoolと交流した。

実施概要について

- ① 本校生19名と引率教諭2名が姉妹校KGGS (Kesteven & Grantham Girls' School) を訪問し、授業・諸活動に参加して現地の生徒や人々との交流を深め、学習を重ねた。
 - * グランサム市庁舎への市長訪問では、グランサム市の歴史を学ぶとともに、生徒代表が福島の現状を伝えるスピーチをした。
 - * Grantham の歴史あるホテルで開かれた Welcome party では、生徒代表が福島の現状について短いスピーチを行い、全員で福島の元気をダンスによって表現した。
- ② KGGS の生徒宅にホームステイし、英国の生活・文化を学び、各家庭で福島についての情報発信をした。
- ③ 名所旧跡を訪れ、英国の歴史や文化を学んだ。

福島の現状発信や現地におけるエネルギー学習について

- ① 英国のエネルギー施設紹介を含む再生可能エネルギー政策について、KGGS の教員による授業を受け、意見交換を行った。
- ② 各ホストファミリー宅で、福島の英語版パンフレットを使い福島の現状について話題にし、福島の未来について話し合った。そして県民が安心して暮らすことができ、風評被害を払拭するために何をするべきかを話し合った。



実施後の反省について

今回の研修参加者は、下記の点で成果を上げているが、全校生徒が成果を共有できるよう、学校行事で発表する予定である。

- ① 外国語学習・異文化理解に対するモチベーションが格段に上昇した。
- ② 世界的建造物・博物館・美術館を有する英国を訪れたことで、世界史に対する興味が喚起された。
- ③ 英国の再生エネルギー活用の取り組みを学び、エネルギー問題に対する意識が芽生えた。
- ④ ホームステイ等を通じ、異文化理解の重要性に対する認識を深めた。

さらに、研修参加者がそれぞれ学び感じ取ったことを自己の中でどのように関連づけ、発展させ、発信していくかが、今後の課題となる。